

令和8年度 組織目標

様式1

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
観光文化スポーツ部	-	部長 園田 三恵 次長 萩原 智行	「観光」を推進力とした「文化」「スポーツ」をはじめとする地域資源の魅力向上と地域への還元	本県の「文化」「スポーツ」が本来持つ価値や魅力を磨き上げるとともに、「環境」や「健康」など多分野にわたる本県の特徴を含め、これらを「観光」の視点で有機的につなげて国内外に発信し、観光誘客と地域活性化を図ることにより、持続可能な滋賀を目指す。		
観光文化スポーツ部	-	部長 園田 三恵 次長 萩原 智行	データ分析や広域連携、利便性の向上を踏まえた事業展開	新たな分野との連携、広域連携の仕掛けづくり、交通アクセスの充実、データの分析・活用を踏まえた事業展開を図るなど、利用者視点に立った施設・サービスの充実を図る。		
観光文化スポーツ部	-	部長 園田 三恵 次長 萩原 智行	環境負荷に配慮した事業の実施	・「わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言」に基づく取組を受け継ぎ、イベント開催や施設の整備・運営にあたり、環境負荷への配慮を徹底		
観光文化スポーツ部	観光政策局 観光文化スポーツ政策室	局長 中嶋 洋一 室長 辻 良介	観光と文化・スポーツの一体的な推進	地域の多様な資源を積極的に発掘し、「観光」の視点で有機的に多分野とつなげ、その魅力を発信することで、「観光」、「文化」、「スポーツ」を一体的に推進し、地域の活性化と持続的発展を目指す。		
観光文化スポーツ部	観光政策局 シガリズム・デスティネーションキャンペーン推進室	局長 中嶋 洋一 副局長 辻 良介 室長 奥本 晃士	・デスティネーションキャンペーン(DC)等を契機とした観光誘客の展開	ブレDCや大河ドラマ放映等の好機を活かし、観光資源の魅力向上や魅力発信等の取り組むとともに、物価高騰等の状況も踏まえた来訪促進策を実施し、国内外からの観光誘客につなげ、観光産業の活性化を図る。		
観光文化スポーツ部	観光政策局 ピワイチ推進室	局長 中嶋 洋一 副局長 辻 良介 室長 中野 秀人	「だれでも、いつでも、どこでも」ピワイチを楽しめる環境整備	レンタサイクル途中返却拠点の増加、宿泊モデルプランの造成、多くの人を楽しめるイベント開催、歩くことや他の交通手段との連携を通じて「だれでも、いつでも、どこでも」ピワイチを楽しめる環境整備を推進する。		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
観光文化スポーツ部	ここ滋賀	所長 片山 昇	ここ滋賀の拠点機能の最大化	<ul style="list-style-type: none"> ・R9年度からの第3期運営に向けて、あり方検討を踏まえた機能強化を実現するための運営事業者の選定および施設改修の実施 ・「ここ滋賀」という首都圏の拠点があるからこそできる取組の可能性をさらに拡大し、「ここ滋賀」の機能の最大化に取り組んでいく。 ・来館者数 年465,000人以上・売上額 年240,000千円以上 ・来館者の評価「滋賀に観光に行ってみたい」95%以上 ・出品事業者満足度 85%以上 ・さらなるテストマーケティングの充実 		
観光文化スポーツ部	観光政策局	局長 中嶋 洋一 副局長 辻 良介	DXの推進による業務の効率化	AIツールの積極的な活用による事務作業の効率化とAIリテラシーの向上を図る。		
観光文化スポーツ部	文化芸術振興課	課長 小林 肇	滋賀県文化振興基本方針(第4次)の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動(文化部)の地域連携に向けて、中学校部活動と地域の活動団体とのマッチング支援を行い、モデルケースをつくる。 ・県内美術館をはじめ幅広い文化団体と連携し、子どもが文化芸術に触れる事業を実施するなど、基本方針の施策を着実に展開する。 		
観光文化スポーツ部	文化芸術振興課	課長 小林 肇	びわ湖ホール再開館を見据えた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・びわ湖ホールの大規模改修工事において適切な工事監理業務(品質・コスト・工程・工期・安全・環境の監理)を行う。 ・県内外文化ホール等と連携した休館中の公演活動の展開など、再開館を見据えた事業を着実に推進する。 		
観光文化スポーツ部	文化芸術振興課	課長 小林 肇	オンライン会議等の活用による業務の効率化	オンライン会議やAI議事録作成ツールなどを積極的に活用し、業務効率化を図る。		
観光文化スポーツ部	文化芸術振興課(美術館)	課長 小林 肇 美術館館長 保坂健二郎 美術館副館長 木村元彦	「子どもも大人も来なくなる未来をひらく美術館」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・整備の設計者の選定を通じて県内外からの関心を上げるとともに、国内随一のキッズアートセンターの実現をめざし外部機関との検討を開始するなど、美術館整備を着実に推進する。 ・公園や周辺施設との連携、アクセスおよび利便性の向上の検討など、他部局と連携して、エリアとしての魅力の向上をめざす。 ・北の近江地域での展示や社会的処方資する取組などを通じて、広く県民がアートに親しめる機会を拡大する。 		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
観光文化スポーツ部	文化財保護課	課長 永井 利憲	埋蔵文化財センターの機能強化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 整備場所の決定 基本計画における整備規模、事業実施時期の方針決定 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	課長 永井 利憲	幻の安土城復元プロジェクトの着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> 令和の大調査の実施・報告書(天主台周辺地区)作成および環境整備の実施 築城450年祭など安土城の価値・魅力発信による安土博・安土城跡の来場者の増加 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	課長 永井 利憲	指定文化財保存修理の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> 延暦寺等保存修理受託工事の確実な入札執行・契約・施工 計画に基づく保存修理の実施支援 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	課長 永井 利憲	琵琶湖の水中遺跡魅力発掘・発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> 葛籠尾崎湖底遺跡の国登録記念物登録に向けた資料作成 普及啓発動画の作成と教育委員会との連携調整 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	課長 永井 利憲	事務手続きの電子化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 文化財関係届出業務の電子化検討 1件 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	文化財活用・新文化館 開設準備室 室長 恩地 衛	新琵琶湖文化館の開館準備	<ul style="list-style-type: none"> 着実な整備、県内外の官民との連携・協働(歳入含)拡大 展示や県内各地・文化財等と有機的に連動する発信拠点づくり、JR、官民等と連携した文化観光の誘いづくり 大津市等と連携し、現文化館解体等にかかる今後の方向性を決定 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	文化財活用・新文化館 開設準備室 室長 恩地 衛	文化財の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀の文化財の価値・魅力を発信する講座・探訪・セミナー開催 50回以上 参加者6,000人以上 滋賀の文化財の価値・魅力を発信する出展等実施 発信対象 5万人以上 SNS等を活用した滋賀の文化財の価値・魅力の発信 メール等の配信 150回以上 (1回/1.5日以上) 		
観光文化スポーツ部	文化財保護課	彦根城世界遺産登録 推進室 室長 高尾 一成	彦根城世界遺産登録に向けた国内推薦の決定	<ul style="list-style-type: none"> イコモスの事前評価結果や国の文化審議会から示された課題に対応した推薦書(暫定版(9月)・完成版(1月))の作成 イコモスの現地調査に向けた準備(リハーサル2回) シンポジウム等を通じた県内外の機運醸成 		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
観光文化スポーツ部	スポーツ課	課長 中野真吾 室長 北村勘吉	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025のレガシーを、未来へつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・両大会で育まれた企業や市町、競技団体等との連携を受け継ぎ、多様な主体が滋賀のスポーツを推進するための仕組みづくりを行う。 ・地域の活力を生み出すシンボルスポーツの定着に向け、市町の取組を支援する。 ・こどもの夢や可能性を実現できるよう、ジュニアアスリートの発掘や育成に取り組む。 ・誰もがスポーツに関わることができるように、パラスポーツ定着に向けた取組を行う。 		
観光文化スポーツ部	スポーツ課	課長 中野真吾 室長 北村勘吉	スポーツを「ひとの健康」、「社会・経済の健康」を支える力へつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回の記念大会となるびわ湖マラソンや来年に開催を控えるWMG2027関西において、これまでの伝統をしっかりと受け継ぎつつ、スポーツの持つチカラを最大限発揮する。 ・プロスポーツチームとの連携を強化し、プロスポーツの魅力や価値を活かした地域活性化を図る。 		
観光文化スポーツ部	スポーツ課	課長 中野真吾 室長 北村勘吉	中学校部活動改革の地域連携・地域展開を見据えた指導者の確保・育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の強化に向け、多様な主体（県内市町、関係団体、企業、学校、保護者、生徒など）へのヒアリングを実施する。 ・地域展開を見据え、地域型部活動実証事業などを実施し、各種課題の整理や成功事例の展開を行う。 これらの取組により、地域指導者（部活動指導員、指導補助者等）の確保・育成を進める。 		
観光文化スポーツ部	スポーツ課	課長 中野真吾 室長 北村勘吉	定期的な課内ミーティングの実施	情報共有の促進や意見交換、目標の確認と進捗管理、一体感の醸成等のため、定期的な課内ミーティングを実施する。		